



No.80 2020.12

WE21 ジャパン News

世界とつながる × 地域にひろげる



**特集** コロナ禍で実感する  
資源の大切さ



# コロナ禍で実感する 資源の大切さ

12 つくる責任  
つかう責任



## 3R(リデュース・リユース・リサイクル)から サーキュラーエコノミーを 目指して

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって、全てのヒトとモノの流れが停滞し、生産や物流が止まりました。

SDGs(持続可能な開発目標)においても、国連が「新型コロナウイルスにより、人々の暮らしが脅威にさらされ、SDGsの達成をさらに困難なものにしている」と発表しました。

新興国や途上国に生産を依存するグローバル・サプライチェーン\*の下で、多くの労働者の解雇や賃金カット、退職金の不払いなどが行われ、より立場の弱い人々が、いかに人権を侵害されているかなども顕在化する形となりました。

コロナ禍で、大手アパレルメーカーの一部は大量閉店や急激な電子商取引(EC)への事業転換など、新しいビジネスモデルへと舵を切り、経済の低迷を乗り切ろうとしています。しかし、このような企業の活動が、商品の大量供給による過剰在庫の廃棄ロス問題や、サプライチェーン労働者の人権問題にどこまで貢献できるのか、さらなる今後の課題となってきます。

SDGsは貧困、人権、環境などの世界的な問題を解決し、すべての人々が平等で安全に暮らせる社会を目指しています。これまで多くの企業は生産された製品をリデュース・リユース・リサイクルの3Rによって対策を講じてきましたが、近年、従来捨てられてきたものや原材料そのものも「資源」と捉え、その資源が循環し続ける「サーキュラーエコノミー(循環型経済)」といった持続可能な取り組みが注目されています。

WE21ジャパンがこれまで実践してきたリユース・ショップの運営から持続可能な社会を目指していくためには、サーキュラーエコノミーの実現に向けて、今あらためて、私たちの暮らしを振り返り、どのように消費するかという行動が求められています。

\*サプライチェーン: 調達、製造、販売、消費などの一連のながれ

### サーキュラーエコノミー(循環型経済)とは

「経済活動で生まれた廃棄物をどう処理するか」の考えに基づき、今まで活用されることなく廃棄されていた製品や原材料などを「新たな資源」と捉え、廃棄物や、健康、環境に有害な汚染を生み出さないように、経済を循環(=サーキュラー)させていく仕組みの事を指します。



以前からお互いの活動を通して「活センター協会」から、手作りマスクの提供はWE21ジャパンが投稿したことで、韓国でもコロナ禍の経験から、日本への布マスクの分

「慶南地域自活センター協会」が、自立を目指して教育や労働の裾野を広げていただいていたマスクの提供が添えられていました。

これらのマスクは、WE21ジャパン下記4団体へ寄贈させていただ

「TIEトマトマの会」への150枚のマスクの提供が、コロナ禍で日本語教室の開催が難しい環境にあるそのご家族へ届

「ことぶき協働スペース」への提供が、泊所が立ち並ぶ横浜市中区であった。貧困と共に高齢化、医療、地区からは、マスクを通して、



慶南地域自活センター協会から





# 寄付品から支援と資源の循環へ

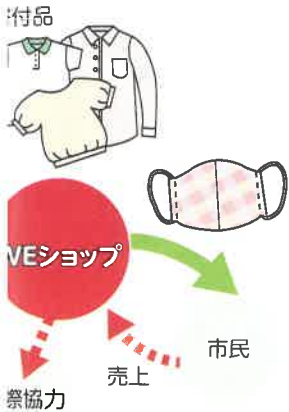


## WEショップの資源循環マスク

新型コロナウイルスの猛威は、マスクを買うことさえ困難にしました。WEショップでは、寄付された古布などで、いち早くリメイクマスクを手作りし、それぞれの地域で販売する取り組みを始めました。コロナ禍で生まれた小さなアイデアは、WEショップが行う民際協力(海外支援)につながるだけでなく、資源を大切にしながら、「マスク不足」や「感染予防対策」にも役立てることができた、「循環づくりのリメイクマスク」となりました。



WEショップで販売しているマスクの一例



# 資源の循環から国を越えた友好へ



## 韓国市民団体から手作り布マスク

慶南地域自活センター「幸せな店」

で交流してきた韓国の「慶南地域自活センター」から1,000枚が寄付されました。きっかけはフェイスブックの寄付マスクの投稿。最初はマスクの購入が大変だった経験から、かち合いを決めたそうです。

は3,758名の生活困窮者が、自活センターを提供する支援を行っています。ひとつには、日本語で温かいメッセージ

を添えて、日本から各WEショップを通じて、届きました。

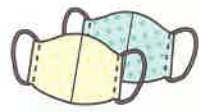
「湘南 JRC」への100枚は、コロナ禍で生活が厳しくなった外国籍児童と、厳しい生活を送っている

400枚は、日雇い労働者の簡易宿舎に暮らす地域の地域支援に役立てられ、また、介護の深刻な問題を抱えている同地域の貧困問題に取り組む慶南地

域自活センター協会の活動に非常に関心が寄せられました。

「特定非営利活動法人 TENOHASHI」への350枚は、東京都池袋地区で日雇いや派遣で生計を立て、国からのマスク支給が難しい路上生活者に届けられました。

“一緒に分かち合うと力になり、どんな苦難や苦しみでも乗り越えられると思います。”と慶南地域自活センター協会長のジョン・ヘチャンさんがWE21ジャパンへ届けてくださったメッセージです。困難な時に差し出された温かい手は、今後のWE21ジャパンの活動にとって心強い交流となり、また小さな資源の循環を通して、市民と市民をつなぐ大きな一歩にもなりました。



韓国



4団体へ



ことぶき協働スペースへの寄贈



WE21 ジャパンちがさきを通じて「TIE トマトマの会へ」



WE21 ジャパンひらつかを通じて「湘南 JRC」へ



届いたマスク

新型  
でいま  
り、現  
います。  
ジン  
州でも  
が行わ  
者が出  
細か  
ている  
医村の  
交通が  
生産者  
しまい  
こうし  
者へ支



WE21  
WEシ



新パ





## 資源の循環から民際協力(海外支援)へ

### フェアトレードで自立した現地の組織が地域の人々を支援

1 貧困をなくそう



コロナウイルスの影響は、支援先であるフィリピンにも及んだ。首都マニラや観光地セブを中心に感染拡大が続いており、未だに感染者は30万人以上、死者は5,000人以上に上って

生姜の生産地であるカパンガン郡を含む、ベンゲット州は4月から「コミュニティ防疫」という名の封鎖(ロックダウン)を実施した。ベンゲット州の中心地であるバギオ市では、感染拡大に伴ってその村ごとにロックダウンし、感染経路などをきめ細かく管理することが功を奏し、感染者の増加は抑えられつつある。ジンジャーティを生産している村々はいずれも無事なため、コミュニティ防疫は必要な手段ではしたが、一方で公共施設が閉鎖し、人・物の移動の自由が厳しく制限されたために、主要生産物の野菜等の販売が行えず、収入手段を失ってしまった。

厳しい状況の中でも、協同組合ダイヨコン\*は生活困窮者への物資を提供、住民組織ウバパス\*は組織内の生活困窮者

へ支援金を送りました。これらの活動は、各組織がフェアトレードの売り上げを元に、自立した地域活動を行ってきたことの大きな成果と言えます。

ベンゲット州では少しずつ制限が緩和され、住民組織はジンジャーティの生産を再開し、秋からは新パッケージ「森育ちのしょうがパウダー」としてリニューアルする予定です。包材は生産者たちの希望を元に、プラスチック容器から環境に優しい紙包装へ変更。デザインは生産者たちが直接描いた商品名や葉っぱのイラストを採用しました。生産者の想いがこもった「森育ちのしょうがパウダー」を愛用いただき、コロナ禍にも負けずに頑張る生産者の活動を共に応援して下さい。

フェアトレードで生産地を応援しませんか

詳しくは WE21 ジャパン HP をご覧ください

<http://www.we21japan.org/participation/fairtrade.html>



協同組合ダイヨコンの活動地



住民組織ウバパスの人々



配給を受ける様子



新パッケージ「森育ちのしょうがパウダー」

※協同組合ダイヨコン、住民組織ウバパスは、フェアトレード・ジンジャーティを生産している生産者組織(他に住民組織ランパダ)で、WE21ジャパン・グループは設立当初から20年にわたり支援してきました。当初は支援金を送ることで、病院のない山間部の村民の健康を守る仕組みを支援していましたが、住民たちの組織化と自立が進んだことから、2010年より、現地で葉草として飲まれてきたジンジャーティを、WE21ジャパンが日本に輸入するフェアトレード事業を開始しました。



パッケージ開発、イラストを描く現地の方々

原材料も資源として捉え、モノを生産する段階から再利用を前提とした循環システム =サーキュラーエコノミーは、その資源と環境、そして人をつなぐ経済として、SDGsの開発目標を達成する手段とも言えます。

SDGs目標のひとつ「つくる責任・つかう責任」。私たちが日々、何を買うのか、どのように消費するのか、行動の一つひとつを見直すことが、企業の活動、やがて世界規模の経済活動や社会のあり方にも影響を及ぼしていきます。

未来に生きる人たち、遠く離れた国や地域で暮らす人々が、より安全に、安心して、自らの力で暮らしていける社会でありたいものです。

# 捨てないで！



## Green Down Project

羽毛は100年循環できる大切な資源。

WE21ジャパン・グループは、グリーндаウンプロジェクトの活動に賛同し、羽毛の資源循環(リサイクル)を推進しています。



### グリーндаウンプロジェクトとは



<https://www.gdp.or.jp/>

羽毛は食肉用に飼育された水鳥の副産物で再生可能資源ですが、多くはごみとして焼却されてきました。軽くて温かい特殊な天然素材であり、温度や湿度を調整する機能も兼ねそなえていることから、近年需要が高まっていますが、その供給量は世界的な食肉市場の変化や鳥インフルエンザ等に大きく左右されてしまいます。

将来にわたり安定的な供給を続けていくためにも、日本国内で羽毛を循環させる仕組みを確立し、羽毛製品の適正処理・再資源化のシステム作りを目的としてグリーндаウンプロジェクト(以下GDP)は設立されました。

## 羽毛布団・ダウンジャケットを WEショップで回収しています (ダウン50%以上)

回収した羽毛をリサイクルし、限りある資源の有効活用を目指しているGDPのミッションは、WE21ジャパンが目指す資源の地域循環と有効活用、二酸化炭素排出削減とつながります。

羽毛は1羽のアヒル(水鳥)から250g(ダウン10g、フェザー240g)しか取れず、羽毛布団(ダウン50%基準)には120羽も必要になります。また、急激な需要増加を背景に、羽毛採取のみを目的とした水鳥を飼育し、ライブハンドピッキング(生きたまま毛をむしり取る行為)が行われている事実も報道され、動物虐待と議論を呼びました。

羽毛はハードケラチンというたんぱく質でできており、1.0kgの羽毛を燃やすと約1.8kgの二酸化炭素が発生します。

WE21ジャパンでは、2019年11月から2020年8月末までに、羽毛布団84枚・ダウンジャケット178枚、合わせて101.5kgの羽毛製品を回収し、二酸化炭素約180kgを抑制しました。

焼却せず再利用すればCO<sub>2</sub>を削減できます



羽毛布団の側生地汚れや破れ、ダウンジャケットの首回りや、手首回りが汚れていても、再利用できます。タグを見て、ダウン率50%以上で濡れていなければ再利用が可能です。ぜひリサイクルに協力ください。



羽毛布団を梱包するスタッフとインターン学生(エコものセンター)



集まった羽毛布団(エコものセンター)

### 下記の WE ショップとエコものセンターで回収しています

WEショップつづき店/WEショップほどがや星川店・天王町店/WEショップたかつ店/WEショップ藤沢店・鶴沼海岸店/WEショップかながわ六角橋店・大口店/WEショップみやまえ店/WEショップいせはら店/WEショップみなみ井土ヶ谷店/WE21 ジャパンエコものセンター

12 つくる責任  
つかう責任





# WEフェスタ2019

## たくさんのご参加ありがとうございました！



2019年11月2日(土)に横浜産貿ホールにて「もったいないの思いは世界につながる! WEフェスタ2019チャリティバザール リユース&リメイク」を開催しました。来場者800名を超える方々にお越しいただき、バザール以外にも、日頃から互いに連携・協力関係にあるNGOや企業の皆様の活動紹介、その他様々なフェアトレード品やリメイク商品などが並び、会場を盛り上げました。特に2019年のWEフェスタは近年のフェアトレードや社会貢献活動への関心の高まりを実感させるものでした。

新型コロナウイルスの影響により、「WEフェスタ2020」は中止となりました。そのため、皆さまから頂いたWEフェスタ用の寄付品は地域のWEショップに分配し、販売させていただきました。今後、新たな開催方法や感染対策を検討して開催の目途がたちましたらお知らせいたします。

### 寄付品やご支援のお問い合わせ

TEL : 045-264-9390  
E-mail : info@we21japan.org

2019年も売上の一部  
¥290,000を右記団体の  
医療・教育支援事業に寄  
付することができました。

認定 NPO法人 日本国際ボランティアセンター(JVC)  
認定 NPO法人 シェア=国際保健協力市民の会  
認定 NPO法人 いわき放射能市民測定室 たらちね

## ● WE21 ジャパンへのご支援よろしくお願いたします ●

### 会員 になって活動にご参加ください

WE21 ジャパン・グループは37のNPOがそれぞれ会員を募集しています。また寄付金も受け付けています。

<b>WE21 ジャパン</b> ———— 年会費 ————	<b>WE21 ジャパン地域 NPO</b> 一年会費 —
正会員 10,000円(個人) 50,000円(団体)	1,000円~
賛助会員 6,000円(個人) 10,000円(団体)	(地域 NPO によって金額が異なります)
郵便局振替 00270-9-67540 (特非) WE21 ジャパン	※各 WE21 ジャパン地域 NPO へ直接
※HP からもお申込みできます。	お問い合わせください。(右記参照)

### ボランティア を募集しています

WE21 ジャパン・グループの WE ショップ (48 店舗)・事務所で活動してみませんか?

<b>WE21 ジャパン</b> ————	<b>WE ショップ</b> ————
事務所・エコものセンター・イベント・データ 入力・発送・販売・仕付けなどの活動。	販売・仕付け・広報などの活動。お気軽 にご参加ください。

### 寄付品 のお願い

ご家庭のまだキレイな衣類や日用雑貨をお近くの「WE ショップ」へご寄付ください。販売収益をアジアを中心とする民協協力・国内支援に活用しています。※遠方の方は WE21 ジャパンまでご連絡ください。

### 企業・団体 の方へ

衣類・日用雑貨の寄付、職場でのバザー、講座開催、イベント協賛・後援などに関心のある企業・団体の方は WE21 ジャパンまでご連絡ください。

問い合わせ先 **WE21 ジャパン** TEL 045-264-9390  
Mail info@we21japan.org

※WE21 ジャパン地域 NPO が WE ショップを運営しています。

たくさんのご協力を  
ありがとうございます

2019年4月~2020年3月分  
全国の皆様からの物品寄付 **総数 1,189 件**

**WE21 ジャパンの ミッション** 私たちは、地球規模で起きている資源の奪い合いや環境破壊・貧困をなくし、環境や人権について考え・行動する市民を地域に広げます。そして次世代へ希望ある市民社会をつなぐために、一人ひとりが身近にできる事から実践します。

## WE21 ジャパンニュース No.80 2020年12月1日発行

認定 NPO 法人 WE21 ジャパン 発行責任者 海田祐子  
〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 70 土居ビル 6 階 Tel 045-264-9390/Fax 045-264-9391  
E-mail : info@we21japan.org URL : http://www.we21japan.org/  
8,000部 頒価 200円

印刷：株式会社大川印刷

## WE21 ジャパン・グループ

NPO	TEL
WE21 ジャパン厚木*	046-296-2555
WE21 ジャパン相模原*	042-744-9799
WE21 ジャパン海老名*	046-235-4047
WE21 ジャパン大和	046-269-1343
WE21 ジャパンぎま	046-258-3550
WE21 ジャパン伊勢原*	0463-96-5752
WE21 ジャパンあやせ	0467-78-8178
WE21 ジャパンひらつか*	0463-22-5258
WE21 ジャパンおおいそ	0463-51-6481
WE21 ジャパンにのみや	0463-71-4421
WE21 ジャパン藤沢*	0466-24-6002
WE21 ジャパンちがさき	0467-88-6015
WE21 ジャパンおだわら	0465-23-2909
WE21 ジャパン寒川	0467-75-8141
WE21 ジャパンたかつ*	044-829-5238
WE21 ジャパンたま	044-945-2427
WE21 ジャパンみやまえ	044-854-6561
WE21 ジャパンあさお	042-331-4919
WE21 ジャパン青葉	045-915-9606
WE21 ジャパンかながわ*	045-633-1537
WE21 ジャパンほどがや*	045-334-5140
WE21 ジャパンなか	045-232-4082
WE21 ジャパン旭*	045-364-3277
WE21 ジャパンみどり	045-937-2656
WE21 ジャパンつるみ	045-573-3235
WE21 ジャパン都筑*	045-948-5596
WE21 ジャパンこうほく*	045-563-1808
WE21 ジャパンいずみ*	045-802-0095
WE21 ジャパンいそご*	045-761-3198
WE21 ジャパン港南	045-264-9390
WE21 ジャパンかなざわ	045-788-4248
WE21 ジャパンとつか*	045-866-0088
WE21 ジャパンさかえ	045-895-7009
WE21 ジャパンみなみ	045-715-4410
WE21 ジャパンよこすか*	046-837-1788
WE21 ジャパンすみだ	03-6657-3035
WE21 ジャパン*	045-264-9390

\* 認定 NPO 法人 (ご寄付いただくと寄付控除の対象となります)

FSC® 森林認証紙、ノン VOC インキ (石油系溶剤 0%) など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、印刷事業において発生する CO<sub>2</sub>全てをカーボンオフセット (相殺) した「CO<sub>2</sub>ゼロ印刷」で印刷しています。

